



●みなさんの笑顔に

ありがとう

お祭りを手伝うようになって15年、お祭りの前の3カ月は、準備で目の回るような忙しさです。

町の皆さんの思いや、要望を聞かせてもらい、皆さんが喜んで下さるようにと目を配り、心を配ってと、へとへとになってしまいます。

当日の朝、責任者の副会長さんのあいさつがありました。

「みなさん、これまで御苦労さまでした。今日は町のみなさんが楽しみにしていたお祭りです。人のために尽くせるこの身に感謝して、仲良く、力を合わせてがんばりましょう。」

笑顔・笑顔・笑顔。町にはキラキラと宝石を散りばめた様に笑顔であふれました。

(新宿区/Y・H)

●幼稚園の運動会に

ありがとう

十月は運動会シーズンでもある。去る連休初日三代目(孫)の通う幼稚園の運動会があった。場所は東京練馬区内であるが、前日に出掛けるの応援である。我が二代目(娘)は未だ暗い早朝から懸命になって弁当づくりに励む。こんな料理も作れるようになったのかと感じ入る出来栄だ。「母は強し」か、と独り密かに感激する。

さて三代目は元気に起きて十分な腹ごしらえの後、一代目の手を引っ張りながら運動会会場へと勇んで進む。小さな手だが、しっかりと握り「おじいちゃん、あの信号を右だよ」「右に行ったら坂があるからね!」「うん、うん」等と会話を交わしながらのごく普通の短い時間だが、「何とも言えない幸せな時間」だ。

会場は既に多くの父兄達が多様な形の敷物を広げている。僅かに残された適地を探して「右へならえ」する。「梅ちゃん先生ならぬ」年少組から梅・竹・松の構成で其々3組づつ合計9組の運動会だ。我が三代目は松の1組。これで三回目の運動会だが、「来年はもうないのだなあ」と、やけに寂しくなる。5、6種目のプロگرامで、三代目は何処か?と高ぶる心に任せて探す。



になる。種目が終わるたびに頑張った験にと、「万歳三唱」が行われる。綺麗に整備された会場には、『裸足』で行う種目もある。かつて転勤先における二代目の通っていた小学校で奨励されていた『裸足の運動会』を思い出す。裸足で土を踏み占める機会の少ない昨今であるが、続いて欲しいものだ。

敷物の上での三三五五の昼食、会話が弾む。ごく普通の出来事であるが、何とも言えない至福の時間だ。ごく普通の、何気ない家族の幸せ感が人生を豊かにしてくれる。来年以降も、多くの他の人達に幸せ感を届けていたきたい。幼稚園の運動会に心の底から『ありがとう』を申し上げます。

(船橋市/K・M)

●皆さまの親切にありがとう

お勤めの帰りにスーパーの開店安売りに惹かれ、夕食の買物に寄ってみたのですが、ついあれもこれもと買いつけてしまいました、スーパーのレジ袋で両手がいっぱいになってしまいました。

そのままバスに乗ると、入口の近くに座っていた学生さんが「どうぞ。」と席を譲って下さりとても助かりました。私は「ありがとう。」とお礼を言い、席に着きました。

その後、バスは混雑し始め、乗客でいっぱいになり、どうやって降りようかと思ったと同時に、「お客様、前からどうぞ。」と運転手さんがすぐに声をかけてくれました。お陰様で安心してバスから降りることができました。

(三鷹市/K・K)

皆さまの親切に感謝です。ありがとうございました。

(横浜市/K・I)

●メガネを拾ってくれて

ありがとう

先日、メガネを無くしました。

あちこち探しましたが見つからず、メガネがないと生活が不自由で仕方ありません。

よくよく思い出してみると、買物に出かけた時に手さげ袋に入れたつもりでしたが、どうやらその時に落としてしまったようで、いくら家の中を探しても見つかるはずもなく、諦めていました。

次の日、出掛けた帰りは、いつも人通りの少ない裏通りを歩くようにしているのですが、その日はなんとなく表通りを通って帰りました。

横断歩道を渡ろうと思い、押しボタン付き信号機のボタンを押そうと思ったら、押しボタン箱の上になぜかメガネが乗っかっていました。

何でこんなところにメガネが?と思いついてみると、なんとそこにあつたのは前日に私が無くしたメガネでした。

前日は雨が降り、風も吹いていたにも関わらず、落ちることもなく、傷一つ負うこともなく、そこに居続けていたメガネに驚かされました。諦めていただけに、無事手元に戻り、とても嬉しかったです。

拾って下さった方、助かりました。ありがとうございました。



●助言をありがとう

働きたくても働けない、そんな一人息子が一年間家にいましたが、お友達のお母さんが心配して下さい、E会社の警備の仕事を紹介していただき、勤め始めました。

仕事は30分くらい立って警備し、その後10休憩するという内容です。家に帰ると「疲れた。疲れた。」と息子が繰り返すので、その度に「そのくらい何で出来ないの？出来て当たり前でしょ。」と言っていました。

すると人生の先輩から「お母さんが認めただけ、息子さんは成長します。」とアドバイスをいただき、息子がやる気を無くしていたのは、私の言葉が原因だったと反省しました。

それ以来、息子が帰ってくると「今日も疲れたね。御苦労さま。ありがとう。」と迎え入れることができる親になれました。言葉をいただきありがとうございました。

(中野区/M・N)

●アプロロンランブに

ありがとう

初めてアプロロンランブという名を聞いた時、どんなランブなのかしらと思いました。

ある会合でお花の好きな、お花に詳しい女性のYさんに会いました。手には朝顔の葉っぱに似た緑の葉の茎を持っており、包装紙にくるんで大事そうに持っていました。

「何かしら？」と聞くと、これはアプロロンランブというお花の茎なので

す。」と言いました。私は聞いたことのない名前なので「え？」と云ってしまいました。不思議そうな声に「かわいなお花が咲くのですよ。家の花壇に植えてあるので、今度持ってきてあげましょう。」と云ってくれました。

数日して本当に持ってきてくれました。ランブの形に似たお花です。色は黒、こげ茶、赤、黄色が段になって一つのお花になっています。

「わー、おもしろい形で、めずらしいお花ですね。」と云うと、「これをあげましょう。差し木にするのと、ちゃんと根がつくのですよ。」と云ってくれました。季節を問わず冬でも咲くというのです。

早速、家に帰って植木鉢に差ししました。始めのうちははしおれたのではないかしらと思うほど元気がありませんでした。日なたが好きだというので、陽の当たるベランダに出して水をやりました。するとみるみる元気になりました。今では完全に根付いています。

あのかわいらしい、めずらしいお花がまた咲くと思うとても楽しみです。私に楽しみを与えてくれてYさんとアプロロンランブにありがとう。

主人の実家は長野で農家をしています。13年前に父が亡くなり、義母が一人暮らしとなったため、農作業を手伝ってほしいの一言で、週末になると主人と二人で東京から長野に向かいます。

●義母の一言にありがとう

慣れない農作業でも手伝うのが長男の



嫁の務めと思い、出来ないとは言えず、頑張ってきました。

やった事のない田植え、草刈りなどの農作業は辛いものですが、10年も過ぎた頃から、主人は会社でのストレスが癒されるようになり、元気をいただいています。私も義母の待つ週末が楽しみになり、今年も実りの秋を迎え、9月には「絹ひかり」の稲刈りも無事に終わりました。

週末の農作業から、どんな変化も素直に受け入れられる大切さを学びました。先祖の残してくれた田畑にありがとう。一言声をかけてくれた義母にありがとう。

(練馬区/K・D)

●素敵な職場にありがとう

開業医の受付で働いており、多くの患者さんに対応させてもらっています。「元気がないですね。」「小学生の子供が言うことを聞かないの。」「仕事を終えて家に帰ると親の介護が待っていて。」などなど、様々な話を伺うことができます。

そうやって話しているうちに、患者さんたちは話しただけでもスッキリして笑顔で家に帰れるのだと、みなさんおっしゃってくれました。

話を聞いてあげただけでも誰かが喜んでくれる。そんな職場が大好きです。私がこうやって働けるのも家族が元気で、82才になる義母が毎日留守番をしてくださるからだ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。ありがとうございました。

(大田区/A・Y)

【携帯 Deショット】

1914年に建設された煉瓦造りの東京駅が修原され、建設100周年を記念して、照明デザイナーの面出薫氏の監修で三菱製のLED照明によるライトアップのイベントが行われています。イベントのない日でも、携帯電話やデジタルカメラ等を持った人々に賑わっています。



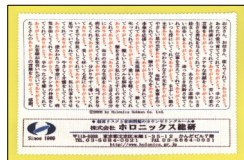
- 携帯電話の方はQRコードから →→→
 - パソコンの方は下記のURLから ↓
 - メールでのご投稿は…
- <http://1039.seesaa.net/>
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せていただいた「ありがとう」のこぼれに因んだ思い、出歌、作文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、ささやかなですが、お礼の品をご用意いたします。また、「オリジナル」をプレゼントさせていただきます。



皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分のお名前や事業所名を刷り込んで、身近な方やお客様へ配布されてはいかがでしょう。編集へのご意見やご提案がございましたら是非お聞かせください。

